

製品名: ABCG2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab06426**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	75kDa

抗原情報

遺伝子名	ABCG2
別名	ABCG2; ABCP; BCRP; BCRP1; MXR; ATP-binding cassette sub-family G member 2; Breast cancer resistance protein; CDw338; Mitoxantrone resistance-associated protein; Placenta-specific ATP-binding cassette transporter; CD338
遺伝子 ID	9429.0
SwissProt ID	Q9UNQ0
免疫原	抗血清はヒト ABCG2 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 461-510

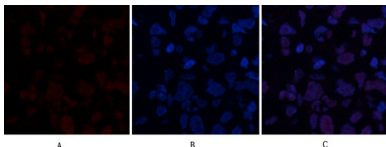
背景

この遺伝子によってコードされる膜関連タンパク質は、ATP 結合カセット (ABC) トランスポーターのスーパーファミリーに含まれます。ABC タンパク質は、細胞外膜および細胞内膜を介して様々な分子を輸送します。ABC 遺伝子は、7つの異なるサブファミリー (ABC1、MDR/TAP、MRP、ALD、OABP、GCN20、White) に分類されます。このタンパク質は White サブファミリーのメンバーです。乳がん耐性タンパク質とも呼ばれるこのタンパク質は、異物トランスポーターとして機能し、多剤耐性において重要な役割を果たす可能性があります。ミトキサントロンおよびアントラサイクリンへの曝露に対する細胞防御機構として機能すると考えられます。このタンパク質は胎盤で顕著に発現しており、胎盤組織においてこの分子が何らかの役割を果たしている可能性を示唆しています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが見つっています。機能: 脳からの異物排除において重要な役割を果たす可能性のある異物トランスポーター。脳から血液への排出に関与している可能性がある。いくつかの癌細胞株の多剤耐性表現型において主要な役割を果たしていると考えられる。過剰発現すると、導入細胞はミトキサントロン、ダウノルビシン、およびドキソルビシンに耐性となり、ダウノルビシンの細胞内蓄積が減少し、ATP 依存的にロータミン 123 の排出が増加する。誘導: 脳腫瘍において上方制御される。PTM: 糖鎖修飾欠損型 ABCG2 は正常に発現し、機能する。類似性: ABC トランスポーターファミリーに属する。ABCG (White) サブファミリー。類似性: 1つの ABC 膜貫通型 2 ドメインを含む。類似性: 1つの ABC トランスポータードメインを含む。サブユニット: モノマーまたはホモダイマー; ジスルフィド結合している。組織特異性: 胎盤で高発現する。小腸、肝臓、結腸では発現が低い。

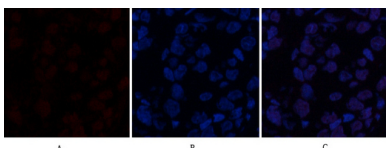
研究分野

ABC トランスポーター;

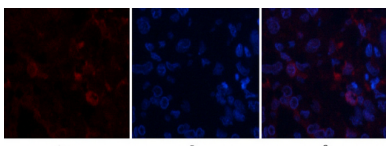
画像データ



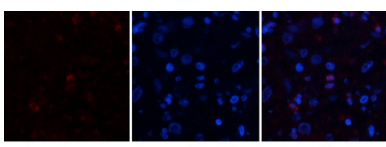
ヒト乳がん組織の免疫蛍光染色。1, ABCG2 ポリクローナル抗体 (赤) を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50 分)。3, 図 B: DAPI (青) 10 分。図 A: ターゲット。図 B: DAPI。図 C: A+B の合成。



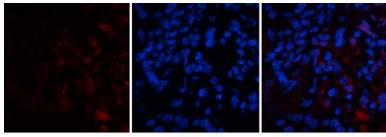
ヒト乳がん組織の免疫蛍光染色。1, ABCG2 ポリクローナル抗体 (赤) を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50 分)。3, 図 B: DAPI (青) 10 分。図 A: ターゲット。図 B: DAPI。図 C: A+B の合成。



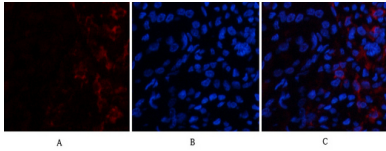
ヒト肺癌組織の免疫蛍光染色。1, ABCG2 ポリクローナル抗体 (赤) を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50 分)。3, 図 B: DAPI (青) 10 分。図 A: ターゲット。図 B: DAPI。図 C: A+B の合成。



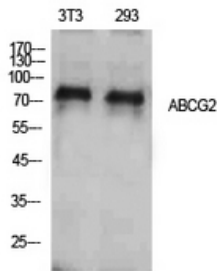
ヒト肺癌組織の免疫蛍光染色。1, ABCG2 ポリクローナル抗体 (赤) を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50 分)。3, 図 B: DAPI (青) 10 分。図 A: ターゲット。図 B: DAPI。図 C: A+B の合成。



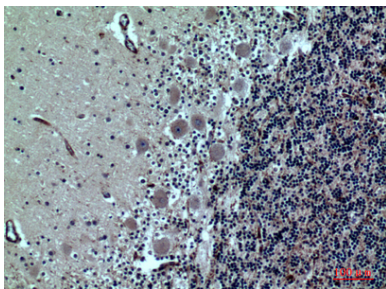
ヒト腎臓組織の免疫蛍光染色。1, ABCG2 ポリクローナル抗体 (赤) を 1:200 に希釈 (4℃、一晚)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50 分)。3, 図 B: DAPI (青) 10 分。図 A: ターゲット。図 B: DAPI。図 C: A+B のマージ。



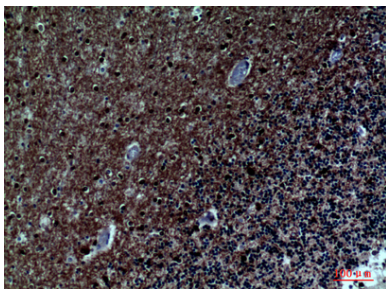
ヒト腎臓組織の免疫蛍光染色。1, ABCG2 ポリクローナル抗体 (赤) を 1:200 に希釈 (4℃、一晚)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50 分)。3, 図 B: DAPI (青) 10 分。図 A: ターゲット。図 B: DAPI。図 C: A+B のマージ。



ABCG2 ポリクローナル抗体を用いた NIH-3T3, 293 細胞のウェスタンブロット解析。抗体は 1:500 に希釈し、二次抗体は 1:20000 に希釈した。



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された